

公益社団法人日本技術士会 CPD 行事 報告書

開始日時	2023 年 5 月 20 日 (土)	14 時 00 分
終了日時	2023 年 5 月 20 日 (土)	15 時 40 分
名称	第 121 回 CPD 専門知識向上講演会	
主催者	公益社団法人日本技術士会 千葉県支部	
開催場所	ZOOM 講演	
行事内容	1. 主催者挨拶 熊田支部長 2. 講演 「SDGs と大学」 ～RE100%をめざして～ 講師：原科 幸彦 氏 (千葉商科大学学長、東京工業大学名誉教授)	
参加人数	36 名	

講演概要：

千葉商科大学は、2017 年度から学長が主導して「持続可能な社会への大学の貢献」という統一テーマの下、4 つの学長プロジェクト「会計学の新展開：会計学をベースに情報化社会をリードする」、「CSR 研究と普及啓発：企業の行動様式の健全化 環境・社会影響を配慮する」、「安全・安心な都市・地域づくり：大学のある地域を地域防災の拠点にする」、「環境・エネルギー：地域分散型エネルギー社会形成の拠点にする」を、2013 年からの教職員・学生のボランティア活動を始まりとして、全学で推進している。

これらの活動は、いずれも国連の持続可能な開発目標 (SDGs) と深く関係しており、SDGs の「誰一人取り残さない」という理念は、千葉商科大学が掲げる建学の理念と高い親和性がある。このような背景もあり、大学として主に研究・人材育成の観点から SDGs へ貢献することを目指している。特にエネルギーは SDGs の多様な目標と関連している。

本講演では、持続可能な社会を実現するための大学としての役割と意義について、具体的な成果の一つとして自然エネルギー100%大学を事例についてお話しがあった。先ず隗よりはじめよで、日本の大学の中で先頭を切って千葉商科大学が脱炭素化へ取り組まれた。2017 年 11 月に環境目標を宣言し、省エネ (全照明の LED 化、EMS を設置し省エネ活動)、創エネ (屋上太陽光発電とメガソーラー エネルギーサービスを事業化)、パワーシフト (再エネ購入) を実施し、2019 年 1 月につくる責任 (SDGs12) と同年 8 月につかう責任 (SDGs12) を達成された。大学自らが行動することで、企業、自治体等の社会に影響を及ぼせるために、世界の大学で脱炭素化が広がり、国内大学でも千葉商科大学を中心に広がりを見せている。

講演の最後に、ビデオで学生による SDGs の取り組みのプロジェクトの紹介があった。

講演後、SDGs に関する千葉商科大学での活動について活発な質疑がなされた。



講演 原科幸彦 講師



主催者挨拶 熊田支部長